

令和 4 年 6 月 13 日現在

機関番号：17401

研究種目：基盤研究(B)（海外学術調査）

研究期間：2017～2021

課題番号：17H04538

研究課題名（和文）牧畜社会におけるエスニシティとエコロジーの相関

研究課題名（英文）The Interdependence of Ethnicity and Ecology in Pastoral Societies

研究代表者

シン ジルト（Chimedyn, Shinjilt）

熊本大学・大学院人文社会科学研究部（文）・教授

研究者番号：00361858

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,900,000円

研究成果の概要（和文）：我々は、人間集団同士のエスニックな関係と、人間と自然のエコロジカルな関係とが、牧畜社会においていかに規定しあっているかを、人類学と歴史学的な側面から考察し、以下の成果を上げた。

(1) 科研チーム2020「特集 牧畜社会における集団観の時空間分析」『地域研究』Vol.20 No.1:1-152。(2) シンジルト著2021『オイラトの民族誌』明石書店。(3) シンジルト・地田徹朗編2021『牧畜を人文学する』名古屋外国語大学出版会。(4) シンジルト編2022『目でみる牧畜世界』風響社。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本科研は、学術的に、まずユーラシアやアフリカの牧畜社会の現状と歴史に関する体系的な理解を促進できた（「特集 牧畜社会における集団観の時空間分析」）。それから牧畜社会における人々関係と人獣関係がいかにお互いに影響しあっているのかを露わにし、エスニシティ研究とエコロジー研究の統合を達成できた（『オイラトの民族誌』）。

また、社会貢献として、本科研の成果の一つである『牧畜を人文学する』は高校生にも読めるわかりやすさを目指した日本初の牧畜の教科書になる。さらには牧畜民とその家畜や社会文化を写真376点で活写した映像ドキュメンタリー『目でみる牧畜世界』によって、多くの人が目を通して牧畜世界を体験できた。

研究成果の概要（英文）：We have investigated the way ethnic relationships between pastoral tribes have been associated with ecological coexistence between those tribes and nature in their societies, based on anthropological and historical approaches. Below are the details of these research findings.

(1) project, 2020, Special issue 'A Historical and Anthropological Analysis of Group Consciousness among Pastoralists' in JCAS Review Vol.20 No.1: 1-152. (2) Chimedyn Shinjilt, 2021, An Ethnography on Oirat: Ecology and Ethnicity in the Pastoral Societies of Inner Asia. Tokyo: Akashi Shoten. (3) Chimedyn Shinjilt and Chida Tetsuro (eds.) 2021, Exploring Pastoralism in the Humanities. Nagoya: Nagoya University of Foreign Studies Press. (4) Chimedyn Shinjilt (ed.), 2022, The Pastoral World: A Photographic Analysis of Conviviality. Tokyo: Fukyosha.

研究分野：社会人類学、内陸アジア地域研究

キーワード：牧畜 エスニシティ エコロジー 集団観 共生

1. 研究開始当初の背景

(1) これまでエスニシティ研究をけん引してきたのは、焼畑農耕社会や牧畜社会といった非定住社会におけるフィールドワーク経験に基づく人類学者が打ち出した動的な境界理論である。「一つの民族は常に一つの言語文化と重なり合うわけではない」とする、焼畑農耕社会を調査した人類学者エドモンド・リーチの研究 [Leach 1954] や、「客観的な文化要素ではなく、主観的な民族意識こそ民族境界を維持し、民族境界の維持によってこそ民族集団が存在する」とする、牧畜社会でフィールドワークを実施した人類学者フレデリック・バルトの研究 [Barth 1969, 2000] が、その代表となるだろう。しかし、今日においてエスニシティ研究は、生業的な要素が希薄になり、言説分析が主流となっており、研究全体が平板化している。

(2) これまで人文社会科学においては人間社会文化を研究する際、その人たちがおかれる自然環境や依拠する生業の在り方が重要視されてきた。だが、今日において環境決定論あるいは本質主義だと批判されることを危惧するあまり、研究者たちは、人々のおかれている自然環境や彼らが携わる生業的な要素とその社会文化との密接な関係を看過している。そして、牧畜社会に関する研究においては「牧畜」があくまでも経済領域の事柄とみなされ、牧畜という生業と牧畜民の集団をめぐる観念（集団観）との連動に関する研究はほとんど休止状態にある。

2. 研究の目的

(1) 人間集団同士の関係を扱うエスニシティ研究にエコロジカルな要素（人間とそれを取りまく動植物など非人間的な要素との関係）の重要性を喚起し、両者の相互規定関係に着目し、言説分析に傾斜するあまり平板化しつつあるエスニシティ研究の活性化を促していく。

(2) 境界線の固定化を追求する国民国家の拡がりに伴い、周縁化されてきた牧畜社会の歴史と現状に注目することで、集団観に関する研究の休止状態を打開しつつ、グローバル化とされる今日において越境にまつわる牧畜民的な発想に内在するもう一つの共生の可能性を見出していく。

3. 研究の方法

我々はアフリカ大陸とユーラシア大陸に分布する牧畜民たちの歴史と現状を踏まえながら、主に以下のような方法で彼らの集団観の動態に関する考察を深めてきた。

(1) 長年蓄積されてきた信頼関係に基づく参与観察を意味する文化人類学的なフィールドワークを実施した。インタビューはもとより、写真や動画など映像資料の収集にも注力し、牧畜社会の社会文化の現状に関するデータベースを構築した。

(2) 現地の古文書館や博物館及び大学などの研究機関における文献収集を行った。文字資料のみならず可能な限り現地の人、とりわけ現地の歴史に詳しい人たちと交流しながらさまざまなオーラルヒストリーを収集し、牧畜社会の歴史を多面的に復元した。

4. 研究成果

(1) 科研チームは、科研年度研究会を毎年開催してきた。時間と場所は次の通りである。2017年度研究会、6月24日～25日、慶應義塾大学。2018年度研究会、6月23日～24日、金沢大学。2019年度研究会、5月11日～12日、東京外国語大学。2020年度研究会、6月06日～07日、大阪教育大学。2021年度研究会、7月24日、熊本大学。科研メンバーによる研究発表だけではなく、5回にわたる年度研究会においては外部講師として次の専門家たちを招聘し、基調報告をしていただき、コメンテーターを務めていただいた。佐川徹氏（慶應義塾大学）、松井健氏（東京大学名誉教授）、坂井弘紀氏（和光大学）、楠和樹氏（京都大学）、中野歩美氏（関西学院

大学)、秋山徹氏(早稲田大学)、岩本佳子氏(長崎大学)、宮本佳和氏(国立民族学博物館)である。こうした研究会の積み重ねが、本科研の質的な向上につながっていった。

(2) 科研チームは、研究成果発表の一環として、学術雑誌『地域研究』(2020、Vol.20 No.1: 1-152)において「牧畜社会における集団観の時空間分析」と題する特集を組んだ。この特集で我々は文化人類学と歴史学の知見を融合させながら、次の三つの問いを軸に議論を展開した。まず、歴史において限定された土地という地理空間に囚われない牧畜民たちは、いかに国家に排除し統合され、それらに対して彼らはどのように応答してきたのか。それから、現在において国民国家の枠組みの中で、牧畜民や元牧畜民たちがいかに牧畜民としてのアイデンティティを構築し、どのように自らの生業と暮らしを再構成しようとしているのか。さらに、さまざまな変化を経験しながら、牧畜民たちは、実際どのように集団を編成し、いかに集団的他者と接すべきだと認識しており、そのような集団観が共生の議論にいかなる示唆を与えうるのか、である。

(3) 科研代表者は、『オイラトの民族誌 内陸アジア牧畜社会におけるエコロジーとエスニシティ』(2021、シンジルト著、明石書店、全284頁)を刊行した。本書は、独自の言語と文字をもち、東アジアから東ヨーロッパまでの広い地理空間に分布し、さまざまな国家や宗教と接してきたユニークな歴史をもつ牧畜民オイラトの人びとの「共生の経験」を描いた民族誌である。書の前半においては、彼らと彼らを取り巻く動植物などの非人間的存在との連続性、後半においては、彼らと彼らと交渉する宗教的言語的な他者との連続性を記述した。この二つの連続性によって構成される牧畜世界をスケッチすることによって、牧畜民が非人間と文化的な他者をどのように捉え、それらといかに接すべきだと考えているかを考察した。こうした連続性を認めるならば、自然、文化、個人、社会、階級、民族といった既存の排他的な分析概念の有効性をも再考し、暗黙裡に定住民的な集団観を自明の前提にする人類学もその色眼鏡を外さなければいけない、という指摘を行なった。

(4) 科研チームは、日本初の牧畜を主題にした教科書『牧畜を人文学する』(2021、シンジルト/地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会、全251頁)を刊行した。我々は、本教科書を読むことで読者が少なくとも次の三つのことができるように強く意識し、本書を編纂した。まず、高校の世界史ではもちえなかった視点で人類史の多様性を学ぶことができる。そして、牧畜民のおかれる境遇の共通性から近代国民国家の本質を読み取ることができる。さらに、国家、国民、民族、階級などに代表される排他的な集団観を前提にしながら集団同士の「きずな」や「つながり」を強調しがちな現代社会とは全く異なる共生の在り方を思い描くことができるようになる。本書は、文化人類学や地域研究などの文脈において、大学の教科書として採用されているだけでなく、一般読者にも広く愛読されている。

(5) 科研チームは、本科研の最終年度において『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』(2022、シンジルト編、風響社、A4・全162頁)を上梓した。これまでの経験を踏まえ、我々は歴史学的なアプローチを強化し、そして牧畜の多様性を重視すべく、科研外部から5名の研究者に加えていただき、南米アンデスの牧畜社会の事例も取り入れることによって、牧畜「世界」を全体的に描くことができた。この本は、12人の研究者が世界中の牧畜の現場で撮影されたオールカラーという8yの民族誌写真376点を生かした映像ドキュメンタリーである。一般読者が民族誌写真を介して、文字化も数値化もできない喜怒哀楽といった牧畜民の「実生活の不可量部分」[マリノフスキ 2010]にアクセスし、牧畜の伝統をもたない日本において、牧畜民のこまごました日常および彼らの共生の在り方を可視化することができた。

<引用文献>

(1) Barth, Fredrik 1969

Introduction. In *Ethnic Groups and Boundaries: The Social Organisation of Culture Difference*. Fredrik Barth (ed), pp. 9-38. Universitetsforlaget.

(2) Barth, Fredrik 2000

Boundaries and connection. In *Signifying Identities: Anthropological Perspectives on Boundaries and Contested Values*. Cohen A. P.(ed), pp.17-36. Routledge.

(3) Leach, E. R. 1954

Political Systems of Highland Burma: A Study of Kachin Social Structure. London: G. Bell & Son Ltd.

(4)マリノフスキ、B 2010

『西太平洋の遠洋航海者：メラネシアのニューギニア諸島における、住民たちの事業と冒険の報告』増田義郎訳、講談社。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計71件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 シンジルト、石倉敏明編	4. 巻 4
2. 論文標題 マタギと人類学者の対話 自然と社会の 距離 を考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『たぐい』 亜紀書房	6. 最初と最後の頁 142-158
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 24
2. 論文標題 民族を横断する親族：チベット高原牧畜民にとっての集団	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学ニュースレター	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 5
2. 論文標題 文学と人類学の親縁性：ツェラン・トンドゥブ邦訳作品集出版に寄せて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 チベット文学と映画制作の現在 SERNYA（セルニャ）	6. 最初と最後の頁 22-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 -
2. 論文標題 天寿を全うする家畜たち	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 奥野克巳、シンジルト編、MOSAマンガ『マンガ版マルチスピーシーズ人類学』以文社	6. 最初と最後の頁 69-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 -
2. 論文標題 総説 = 世界の牧畜から牧畜世界へ もう一つの共生を探って	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 5-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 -
2. 論文標題 オイラト、動植物、無生物 牧畜民的な「共生」とは	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 136-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 -
2. 論文標題 馬を愛でる歴史ーソ連・ロシアの経験は牧畜をどう変えたのか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 32-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 -
2. 論文標題 カザフスタン・小アラル海地域での牧畜ー牧畜が災害復興に果たした役割とは何か	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 62-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 3
2. 論文標題 カザフスタンにおける放牧地利用の現状と問題点：「放牧地法」の制定とその意義	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 今村薫編『自然適応と牧畜』（中央アジア牧畜社会研究叢書3）名古屋学院大学現代社会学部文化人類学研究室	6. 最初と最後の頁 9-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MIYAMOTO MARI, MAGNUSSON JAN, KOROM FRANK J	4. 巻 -
2. 論文標題 Animal Slaughter and Religious Nationalism in Bhutan (80th Commemorative Issue) -- (SOUTH ASIAN NATIONALISMS)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian ethnology	6. 最初と最後の頁 121-145
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 -
2. 論文標題 豊穰を占うバンバラム	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 奥野克巳、シンジルト編、MOSAマンガ『マンガ版マルチスピーシーズ人類学』以文社	6. 最初と最後の頁 37-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 -
2. 論文標題 ヒマラヤでヤクと生きる：ブータンの牧畜民が往来する境界とは	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 74-85
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 -
2. 論文標題 願いをたなびかせる ブータンの祈りの旗	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 躍動するインド世界の布	6. 最初と最後の頁 60-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上村明	4. 巻 -
2. 論文標題 モンゴルの乳しぼり --- 牧畜民と家畜の心は通うか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 98 - 102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村うらら	4. 巻 -
2. 論文標題 トルコ遊牧民ユルックの現在---いかに、なぜ移動を続けるのか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 104 - 113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 波佐間逸博	4. 巻 -
2. 論文標題 ナイル遊牧民のライフヒストリー---キバシウシツツキはどうやって青年をふたたび立ちあがらせたのか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 シンジルト編『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』風響社	6. 最初と最後の頁 114-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト、MOSA	4. 巻 3
2. 論文標題 畜糞はウンチになった	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『たぐい』	6. 最初と最後の頁 136-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 -
2. 論文標題 チベットの牧畜民にとって親族とは何か? -- 集団と越境	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 186-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 61(3)
2. 論文標題 環境と地理からみる中央アジア地域研究のあり方 (特別連載「インタビューで知る研究最前線」)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 81-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田徹朗、タルガルバイ・コヌスバエフ、マルグラン・イクラソフ	4. 巻 2
2. 論文標題 小アラル海南岸でのラクダ飼養の特徴について: 2020年2月、カザフスタン出張報告	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 今村薫編『遊牧と定住化』(中央アジア牧畜社会研究叢書2)名古屋学院大学	6. 最初と最後の頁 19-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 -
2. 論文標題 ソ連はカザフに何をもちたのか? — 遊牧民と近代化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 66-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 波佐間逸博	4. 巻 -
2. 論文標題 ナイル牧畜民はなぜ敵を助けるのか? — 動物といのち	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 206-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村うらら	4. 巻 -
2. 論文標題 トルコの遊牧民は時代遅れか? — 帰属意識と文化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 126-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ulara TAMURA	4. 巻 -
2. 論文標題 Chapter 4, Performing Turkish Culture: The Inclusiveness of the Largest Yoruk Festival in Contemporary Turkey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gaku Kajimaru, Caitlin Coker, Kazuhiro Kazama (eds) An Anthropology of Ba: Place and Performance Co-emerging. Trans Pacific Press	6. 最初と最後の頁 74-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 -
2. 論文標題 動物の生死と人類: 屠畜と肉食の文化人類学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西尾宇広 (編著) 『生命の経済』	6. 最初と最後の頁 119-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 -
2. 論文標題 剥き出しの屠りと匿名的な屠畜者たち 現代ブータンにみる屠畜規制と拡大する放生実践	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 田中雅一・石井美保・山本達也 (編著) 『インド・剥き出しの世界』	6. 最初と最後の頁 259-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 -
2. 論文標題 ヒマラヤ牧畜民の暮らしに大切なものは何? — 交換と分業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 88 - 105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 57
2. 論文標題 1850年代ロシア帝国における跛行的宗教行政 カルムイク人仏教徒・保護監督長・国有財産省	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史研究	6. 最初と最後の頁 43 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 -
2. 論文標題 ロシアの牧畜民はなぜ魚も好むのか? — 定住化と生存戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 48-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y	4. 巻 -
2. 論文標題 " YY "	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 -2020:	6. 最初と最後の頁 27-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上村明	4. 巻 -
2. 論文標題 土地の私有化はモンゴルになぜなじまない? — 移動と開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シンジルト・地田徹朗編、名古屋外国語大学出版会	6. 最初と最後の頁 146-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 2
2. 論文標題 家畜の野生化: チベット高原における種間関係のダイナミックス	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『たぐい』	6. 最初と最後の頁 96-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 特集にあたって 牧畜民の集団観研究序説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 1 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 ニエディの民族誌：チベット牧畜社会における集団観の動態	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 96-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 23
2. 論文標題 環境破壊の歴史と今を追う：中央アジア・アラル海地域の社会変容と持続可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Field+	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 1
2. 論文標題 カザフスタン・小アラル海地域での牧畜の特性に関する萌芽的調査：遠隔村・アクバストゥ村を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 今村薫編『牧畜社会の動態』（中央アジア牧畜社会研究叢書1）名古屋学院大学総合研究所	6. 最初と最後の頁 49-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 地田徹朗	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 全面的集団化前夜のカザフ人牧畜民(1928年):「パイ」の排除政策と牧畜民社会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 13-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 波佐間逸博	4. 巻 6
2. 論文標題 レジリエントなアフリカ遊牧社会のマイクロ・エスノグラフィー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『多文化社会研究』	6. 最初と最後の頁 339-372
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 波佐間逸博	4. 巻 6
2. 論文標題 序:アフリカのレジリエンス:現代社会の困難を克服する創造性とフィールドワーク主義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『多文化社会研究』	6. 最初と最後の頁 291-293
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SAGAWA, Toru; HAZAMA, Itsuhiro	4. 巻 40(2-3)
2. 論文標題 Naturalography of Co-Existence among East African Pastoral Societies: An Introductory Overview of Japanese	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 African Study Monographs	6. 最初と最後の頁 45-75
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 波佐間逸博	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 敵の命を助けるー東アフリカ牧畜民の共生論理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 139-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村うらら	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 公共化するコルック - - トルコにおける「遊牧民」の連帯をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 56 78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mari Miyamoto	4. 巻 10
2. 論文標題 “Contesting Values of Brewing “Chang” in a National Park of Bhutan”	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature, Culture, and Food in Monsoon Asia	6. 最初と最後の頁 113-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 ネッパ関係からみるブータンの高地牧畜民社会とその変容: 北部国境防衛と定住化の狭間で	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 79-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 遊牧から漁撈牧畜へ 定住化政策下のカルムイクについて(18世紀後半～19世紀中葉)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 37 55
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 57
2. 論文標題 1850年代ロシア帝国における跛行的宗教行政 カルムイク人仏教徒・保護監督長・国有財産省	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『歴史研究』	6. 最初と最後の頁 43 66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上村明	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 家畜は境界を越える モンゴル国西部におけるエスニック集団の共生原理	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『地域研究』	6. 最初と最後の頁 115-138
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 1
2. 論文標題 愛して喰う：中国南部の犬肉食の民族誌	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奥野克巳・シンジルト・近藤祉秋編『たぐい』、亜紀書房	6. 最初と最後の頁 96-106
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 24
2. 論文標題 民族を横断する親族：チベット高原牧畜民にとっての集団	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学ニュースレター	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 3
2. 論文標題 共生的実際：論中国西部民族間擬親属関係(付吉力根訳)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『西南边疆民族研究』中国雲南省昆明市・雲南大学西南边疆少数民族研究中心	6. 最初と最後の頁 35-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 2
2. 論文標題 家畜個性性再考：以河南蒙旗策塔爾实践為例)(付吉力根とGa藏尼瑪訳)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『青海民族大学学报(社会科学版)』中国青海省西寧市・青海民族大学	6. 最初と最後の頁 22-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田 徹朗	4. 巻 -
2. 論文標題 環境問題と環境政策：ソ連時代の負の遺産と新たな課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 宇山智彦、樋渡雅人編著『現代中央アジア：政治・経済・社会』日本評論社	6. 最初と最後の頁 77-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田 徹朗	4. 巻 1031
2. 論文標題 カザフスタンにおける『近代化』と強制農業集団化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ロシア・ユーラシアの経済と社会	6. 最初と最後の頁 31-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田 徹朗	4. 巻 -
2. 論文標題 社会主義建設と開発：棉花モノカルチャー化とその顛末	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 帯谷知可編『ウズベキスタンを知るための60章』明石書店	6. 最初と最後の頁 95-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 地田 徹朗	4. 巻 24
2. 論文標題 カザフ人にとっての漁業と牧畜：アラル海災害前後での生業の変遷を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 67-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 24
2. 論文標題 牧畜、漁撈、移動性：19世紀カルムイク人の生業と土地利用の変容	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学ニュースレター	6. 最初と最後の頁 88-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 -
2. 論文標題 新仏教聖地建設の夢：カルムイク人の仏教復興と民族文化復興のあいだ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 杉本良男・松尾瑞穂編『聖地のポリティクス：ユーラシア地域大国の比較から』、風響社	6. 最初と最後の頁 187-212
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村うらら	4. 巻 24
2. 論文標題 トルコ南部の遊牧民ユルックの現在：生業を巡る変化を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学ニュースレター	6. 最初と最後の頁 82-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 田村うらら	4. 巻 164
2. 論文標題 嫁入り道具からみるトルコの近代化と人びとの価値観	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 79-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅屋潔・波佐間逸博	4. 巻 83巻2号
2. 論文標題 序 東アフリカにおけるシティズンシップ研究に向けて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 166-179
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 フランス・B・ニャムンジョ・波佐間逸博(訳)	4. 巻 83巻2号
2. 論文標題 21世紀のアフリカにおけるシティズンシップの再考 ある概念的考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 180-192
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 波佐間逸博	4. 巻 83巻2号
2. 論文標題 北東ウガンダ牧畜民の抵抗におけるシティズンシップの実践	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 256-273
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itsuhiro Hazama	4. 巻 6
2. 論文標題 Ugandan Pastoralists' Everyday Histories of Gun Acquisition and State Violence	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際武器移転史	6. 最初と最後の頁 23-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 29
2. 論文標題 我々の寺から僧院の寺へ：ブータンにおける寺守りの世界と共同体の変容	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日吉紀要 社会科学	6. 最初と最後の頁 11-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本万里	4. 巻 24
2. 論文標題 現代ブータンにみる高地民と牧畜民：屠畜と稲作、移動をめぐる集団の境界づけとその動態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学会ニューズレター	6. 最初と最後の頁 61-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 上村明	4. 巻 24
2. 論文標題 エスニック境界を越える牧畜民の協力：モンゴル国西部のオリアンハイ人とカザフ人の事例から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生態人類学会ニューズレター	6. 最初と最後の頁 76-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 シンジルト	4. 巻 5
2. 論文標題 文学と人類学の親縁性：ツェラン・トンドゥブ作品集の邦訳に寄せて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 チベット文学と映画制作の現在 SERNYA（セルニャ）	6. 最初と最後の頁 22-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村うらら	4. 巻 164
2. 論文標題 トルコの「嫁入り道具」の今昔をひも解く	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 79-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itsuhiko HAZAMA	4. 巻 56
2. 論文標題 Potentials of African Pastoralism: Practice of Citizenship for Livelihood in East African Pastoral Society	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 African Study Monographs. Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 33-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上岳彦	4. 巻 100
2. 論文標題 遊牧指導者の変容する権力：17世紀初め～20世紀初めにおけるカルムイク草原社会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ロシア史研究	6. 最初と最後の頁 145 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上村 明	4. 巻 82
2. 論文標題 適応する「主体」：モンゴル国牧畜民の世帯構成から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 014～034
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14890/jjcanth.82.1_014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計39件 (うち招待講演 14件 / うち国際学会 14件)

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 先祖と共に生きる技法：内陸アジア牧畜社会における親族の集まり
3. 学会等名 牧畜を人文学する コロナ禍の中で「移動・越境する民」について学ぶ、共催：名古屋外国語大学 世界共生学科、ワールドリベラル アーツセンター、12月20日 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 牧畜民的な集団観の今：チンギス・ハーンのカザフ人未裔たちとのめぐり合いから
3. 学会等名 第35回 北方民族文化シンポジウム 網走（大林太良・学問と北方文化研究）、一般財団法人北方文化振興協会・北海道立北方民族博物館（主催）、10月16日 - 17日（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 定住化するチベット高原牧畜社会の現在：ヤン、ブランド、リジューベネーション
3. 学会等名 京都人類学研究会8月例会、8月21日（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 定住化するチベット高原牧畜社会の現在：ヤン、ブランド、リジューベネーション
3. 学会等名 京都人類学研究会8月季節例会「環境のなかに『住まう』こと」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 牧畜民的な集団観の今：チンギス・ハーンのカザフ人未裔たちとのめぐり合いから
3. 学会等名 第35回 北方民族文化シンポジウム 網走「大林太良・学問と北方文化研究——大林太良先生没後20年記念シンポジウム——」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井上岳彦
2. 発表標題 ひげはあるか：社会主義的ユーラシア遊牧英雄像
3. 学会等名 「社会主義文化と身体イメージ」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MARI MIYAMOTO
2. 発表標題 Interrelationship between Monarchy, Religion and Development in Democratic Transition in Bhutan
3. 学会等名 日本南アジア学会第34回全国大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田村つらら
2. 発表標題 マイノリティから汎テュルク主義のアクターへ トルコにおけるユルックの現在
3. 学会等名 日本中央アジア学会 2021年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 波佐間逸博
2. 発表標題 境界をこえる相互行為
3. 学会等名 2021年度第1回白山人類学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 波佐間逸博
2. 発表標題 構造的暴力に対抗するレジリエンスー遊牧の人為的危機に直面したウガンダの牧畜社会におけるシティズンシップの実践
3. 学会等名 国際開発学会第32回全国大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Itsuhiro Hazama
2. 発表標題 The resilience of alterity: Sparing enemies among Karimojong cluster
3. 学会等名 Japan/South Africa Resilience July Online meeting（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村つらら
2. 発表標題 トルコ共和国における「遊牧民」ユルックの公共化：文化祭典の分析から
3. 学会等名 日本中東学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Y
2. 発表標題 " YY "
3. 学会等名 -2020: (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuro CHIDA, Talgarbay KONYSBAEV
2. 発表標題 The ecological crisis and resilience: the livestock robustness in Kazakhstan part of the Aral Sea region
3. 学会等名 The 16th Biennial Conference of the European Society for Central Asian Studies (ESCAS) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 地田徹朗
2. 発表標題 環境と地理からみる中央アジア地域研究のあり方
3. 学会等名 日本中央アジア学会2019年度年次大会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 HAZAMA, Itsuhiro
2. 発表標題 Citizenship Practices in the Resistance
3. 学会等名 IUAES 2019 Inter-Congress "World Solidarities" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 HAZAMA, Itsuhiro
2. 発表標題 Appearance of Alterity: Citizenship Practices in the Resistance of Northeastern Ugandan Pastoralists
3. 学会等名 International Workshop Resonance of Alterity: Way of Coexistence in Pastoral Society in East Africa(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 波佐間逸博
2. 発表標題 ひとと動物のあいだのシティズンシップ 東アフリカ・ナイル系カリモジョンクラスターの共振する他性
3. 学会等名 長崎大学多文化社会学部シンポジウム「アフリカのレジリエンス - 現代社会の困難を克服する創造性とフィールドワーク主義」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 HAZAMA, Itsuhiro
2. 発表標題 Citizenship Practice in the Resilience
3. 学会等名 International Workshop Thinking Resilience and Development from the “Exceptional” Africa (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ulara TAMURA
2. 発表標題 From Backwardness to Pride: Yoruk Cultural Revitalization through Performances in the Largest Nomadic Festival in Turkey
3. 学会等名 the biennial conference by the Society for Cultural Anthropology and the Society for Visual Anthropology, in the panel named "Distributed Multimodalities" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮本万里
2. 発表標題 宗教ナショナリズムと層場の政治ーブータンの仏教世界とその周縁
3. 学会等名 2019年度南アジアセミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上岳彦
2. 発表標題 D. ショルコヴィツ新著『誰も異族人を救わない、その幸せは彼ら自身にある：プリヤート人及びカルムイク人に関する歴史民族誌論文史料集』（2018）を読む
3. 学会等名 日本シベリア学会第5回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上岳彦
2. 発表標題 旅行先としての清帝国：カルムイク人・プリヤート人の『旅行記』から
3. 学会等名 国際シンポジウム『清帝国におけるモビリティ再興：モンゴルの場合』（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 狗権でも人権でもない：中国玉林犬肉祭のポリティクス
3. 学会等名 日本文化人類学会第52回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上岳彦
2. 発表標題 魚は羊の代わりになるのか：17～19世紀におけるカルムイク人の牧地問題について
3. 学会等名 北海道中央ユーラシア研究会第133回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mari Miyamoto
2. 発表標題 Buddhist Revivalism and Democratization in Bhutan
3. 学会等名 Nationalisms in South Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mari Miyamoto
2. 発表標題 Politics of Meat and Slaughterhouse in Northeast India and the Himalayas
3. 学会等名 25th European Conference on South Asian Studies (ECSAS) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上村明
2. 発表標題 1912年のアルタイ・オリアンハイの統治者バルダンドルジの書簡について
3. 学会等名 モンゴル原典の遺産 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上村明
2. 発表標題 アルタイの山の主に捧げる 叙事詩の声の技法とその広がり
3. 学会等名 説話・伝承学会 2018年度秋季大会、シンポジウム「中央ユーラシアの英雄叙事詩 伝承と伝承者」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 反思人類学对社会现实的理解模式：群体・个体・共生
3. 学会等名 内蒙古大学民族学社会学学院「トゥルグン川」シリーズ学术講座（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 シンジルト
2. 発表標題 民族を横断する親族：チベット高原におけるオイラト系牧畜民の集団意識の特徴と変遷
3. 学会等名 第23回生態人類学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村つらら
2. 発表標題 トルコ南部の遊牧民ユルックの現在：生業を巡る変化を中心に
3. 学会等名 第23回生態人類学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 地田徹朗
2. 発表標題 カザフ人にとっての漁業と牧畜：アラル海災害前後での生業の変遷を中心に
3. 学会等名 第23回生態人類学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Itsuhiko HAZAMA
2. 発表標題 Naturalography of the entanglement between East African pastoral citizenship and everyday forms of animal resistance
3. 学会等名 日本学術振興会二国間交流事業共同研究「21世紀の南アフリカと日本におけるシティズンシップ」 Japan-South Africa Citizenship Workshop
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Itsuhiko HAZAMA
2. 発表標題 Politics of Movement and Co-existence Logic: East African Pastoral Coping with State's Sedentarization Policy among the Karimojong and Dodoth in northeastern Uganda
3. 学会等名 CASCA/IUAES2017 Conference in Ottawa: Mo(u)vement (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本万里
2. 発表標題 現代ブータンにみる高地民と牧畜民：屠畜と移動をめぐる集団の境界づけとその動態
3. 学会等名 第23回生態人類学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮本万里
2. 発表標題 民主化期ブータンにおける仏教復興と牛の屠り：牧畜社会の放生実践をめぐる
3. 学会等名 第50回南アジア研究集会シンポジウム「The Himalayas on the Move」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上岳彦
2. 発表標題 カルムイク人の牧畜と漁撈をめぐる土地利用：ロシア人・カザフ人等周辺諸民族との関係の変遷に注目して
3. 学会等名 第23回生態人類学会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上村明
2. 発表標題 エスニック境界を越える牧畜民の協力：モンゴル国西部におけるその歴史・制度・生態
3. 学会等名 第23回生態人類学会研究大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計14件

1. 著者名 奥野克巳・シンジルト編、MOSAマンガ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 以文社	5. 総ページ数 344
3. 書名 『マンガ版マルチスピーシーズ人類学』	

1. 著者名 シンジルト編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 A4・全162
3. 書名 『目でみる牧畜世界 21世紀の地球で共生を探る』	

1. 著者名 シンジルト・地田徹朗(編著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 名古屋外国語大学出版会	5. 総ページ数 251
3. 書名 牧畜を人類学する	

1. 著者名 シンジルト	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 284
3. 書名 オイラトの民族誌：内陸アジア牧畜社会におけるエコロジーとエスニシテ	

1. 著者名 Itsuhiro Hazama, Kiyoshi Umeya, Francis B. Nyamnjoh (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Langaa RPCIG	5. 総ページ数 442
3. 書名 Citizenship in Motion: South African and Japanese Scholars in Conversation	

1. 著者名 Yukiko Tatsumi and Taro Tsurumi, eds	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Bloomsbury Academic	5. 総ページ数 264
3. 書名 Publishing in Tsarist Russia: A History of Print Media from Enlightenment to Revolution(うち Takehiko Inoue分担執筆 123-140)	

1. 著者名 Yumiko Ishihama, Makoto Tachibana, Ryosuke Kobayashi, Takehikio Inoue, eds.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Union Press	5. 総ページ数 256
3. 書名 The Resurgence of "Buddhist Government": Tibetan-Mongolian Relations in the Modern World	

1. 著者名 北村光二・内藤直樹・太田至・曾我亨・杉山祐子・湖中真哉・波佐間逸博・河合香吏・佐川徹・川口博子・目黒紀夫・中村香子・孫暁剛・泉直亮・楠和樹	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 xi + 376 + x
3. 書名 遊牧の思想 人類学がみる激動のアフリカ	

1. 著者名 荻原真子、福田晃、金賛會、百田弥栄子、坂井弘紀、上村明、三宅伸一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 三弥井書店	5. 総ページ数 343
3. 書名 英雄叙事詩 アイヌ・日本からユーラシアへ	

1. 著者名 熊本大学文学部総合人間学科社会人間学コース狩猟肉調査チーム（シンジルト監修）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 熊本大学文学部 シンジルト研究室 発行	5. 総ページ数 176+
3. 書名 狩猟肉の民族誌：肉をつくる、肉がなくなぐ、肉がつくる	

1. 著者名 波佐間逸博	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 320 (91-114)
3. 書名 「武力に対抗する癒し：ウガンダ・ナイル系遊牧民の多文化医療」湖中真哉・太田至・孫暁剛編『地域研究からみた人道支援：アフリカ遊牧民の現場から問い直す』	

1. 著者名 波佐間逸博	4. 発行年 2018年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 442 (193-219)
3. 書名 「放牧と世界認識 東アフリカ牧畜社会の人 動物関係」秋道智彌編『交錯する世界 自然と文化の脱構築：フィリップ・デスコラとの対話』	

1. 著者名 Mari Miyamoto	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer International Publishing	5. 総ページ数 263 (95-113)
3. 書名 “A Form of “Democratization Project” in Contemporary Bhutan: Being Apolitical and Being Religious” In J. D. Schmidt (ed.), Development Challenges in Bhutan: Perspectives on Inequality and Gross National Happiness.	

1. 著者名 地田徹朗	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 336 (209-236)
3. 書名 「ブレジネフ期連邦構成共和国の政治と民族の問題：クルグズタンを事例として」宇山智彦責任編集『ロシア革命とソ連の世紀 5 越境する革命と民族』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

EE-PROJECT 牧畜社会におけるエスニシティとエコロジーの相関
<https://www.let.kumamoto-u.ac.jp/ihs/soc/anthropology/shinjilt/ee-project/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	地田 徹朗 (CHIDA Tetsuro) (10612012)	名古屋外国語大学・世界共生学部・准教授 (33925)	
研究分担者	波佐間 逸博 (HAZAMA Itsuhiro) (20547997)	東洋大学・社会学部・教授 (32663)	
研究分担者	田村 うらら (TAMURA Ulara) (10580350)	金沢大学・人間科学系・准教授 (13301)	
研究分担者	宮本 万里 (Miyamoto Mari) (60570984)	慶應義塾大学・商学部(日吉)・准教授 (32612)	
研究分担者	井上 岳彦 (INOUE Takehiko) (60723202)	北海道大学・文学研究院・専門研究員 (10101)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	上村 明 (Kamimura Akira) (90376830)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・研究員 (12603)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関